

月31日から30回にわたり各地区で説明会と意見交換会を行うほか、若草幼稚園と富士幼稚園を会場にそれぞれ保護者のみなさんとのひざを交えた懇談会の開催や各団体への説明会を開催してきました。

しかし、この間の説明会や懇談会では、市の考え方や基本的方針の背景についての理解が十分ではないことや、私立幼稚園の教育実態に対して誤解があることなどの認識から、市長は、市政の最高責任者として、なお話し合いが必要と考えました。自ら廃園に反対される入園児の保護者のみなさんと3回、私立幼稚園協会関係者のみなさんと1回の話し合いを持つとともに、市立幼稚園の保護者のみなさんと私立幼稚園協会のみなさんの懇談に同席し、双方の理解を深める努力をしてきました。

### 市民のみなさんから寄せられた意見について

市は、これまでさまざまな機会を通して幼稚園廃園に関する市民のみなさんのご意見をいただけてきましたが、その中でも、廃園に反対されるご意見の内容は、おおむね次のとおりとして受け止めました。

- ・入園料や保育料、通園費などについて公立・私立間の格差があり、市立幼稚園の廃園によって保護者のみなさんの経済的負担が増大すること。
- ・文部科学省が示す幼稚園教育要領の進め方において、それぞれの園に特徴があり、廃園により市立幼稚園の

進め方を好む市民のみなさんの選択肢が狭まること。

・市が幼稚園教育をやめることにより、子どもの健全育成のために最も重要な幼児教育に対する市政の係わりが薄れてしまうのではないかと不安があること。

・14年度末の3園同時廃止は、保護者にとつて経済的負担が増えることへの備えなど、それまでの準備期間が十分でないこと。

・昨年10月からの保護者説明会など、市民への情報提供や説明のあり方が十分でなかったこと。

### 市立幼稚園廃園のすすめ方

市政の推進にあたって市は、これまでも、市民参画による『開かれた市政』を基本として市民のみなさんのご理解とご協力をいただきながら、市民のみなさんが納得できる市政運営を進めるよう努めてきました。

市立幼稚園の廃園についても、当然に市民のみなさんのご理解とご協力をいただいた上で進めるべきものとの観点から、この間、各般の説明会や意見交換会・懇談会を開催し、市民のみなさんのご理解を得られるよう最大限の努力を傾注してきました。

この間の話し合いによって、お互いの理解は相当深まったと理解しています。

しかし、来年度の募集時期が迫っていること、あるいは保護者のみなさんが懸念する経済的負担が増えることへ

の準備期間の必要性が理解できることなど、廃園をこれまでの方針どおり進めるには、無理があると考えます。

また、子どもたちを取り巻く環境変化が著しい状況の下にあって、次代を担う子どもたちが夢と希望をもって健康やかに成長することは、私たちすべての願いであり、その環境を整えることは大人すべてに課せられた責務です。

人間形成の基礎が形づくられる幼児期における保育・教育、さらには子育て環境の整備などきめ細かな子育て支援策は、地域が全力を挙げて構築しなければならぬ最も重要な課題です。

市は、市民のみなさんとの懇談を通して、幼児教育のあり方や子育て支援の仕組みなどに関し、多くの要望をいただくとともに、今後の幼児教育の充実に向けたさまざまな課題を受け止めました。

これらを総合的に勘案し、市は、幼稚園と保育所の連携、あるいは幼稚園・保育所と小学校の連携、幼稚園における子育て支援機能の充実、家庭と地域と学校との密接な連携のもとでの適切な役割分担など、幼児教育と保育に関する課題解決に向けて全力で取り組むとともに、市立幼稚園の廃園について次のように進めることとします。

●新しい時代において、市としての行政責任を全うするため行政改革を更に推進するとともに、登別市における幼稚園教育の安定確保を図るため引き続き『幼稚園教育は民間に委ねる』こと

を基本方針とします。

●若草幼稚園は、施設の老朽化が著しいことから、平成14年度の4歳児入園を停止し、平成15年3月31日をもって廃園とします。

●登別温泉幼稚園と富士幼稚園については、保護者の強い要請と諸般の事情を考慮して、廃園の時期を2年延ばすこととします。

●幼稚園と保育所、幼稚園・保育所と小学校などの連携を強化し、幼児教育の振興を図ります。

●私立幼稚園に対して教育環境整備への努力を求めるとともに、支援のあり方について検討します。

●市立幼稚園廃園に伴い、予想される保護者の経済的負担の軽減に努めます。

市は、この『市立幼稚園廃園のすすめ方』をもとに、9月19日に招集された平成13年第4回登別市議会臨時会に登別市立幼稚園設置条例の一部改正を提案し、原案どおり可決されました。

今後市は、『市立幼稚園廃園のすすめ方』に基づいて市立幼稚園の廃園を進めるとともに、幼児教育の振興を図ります。

市立幼稚園の運営に関するお問い合わせは、学校教育課 ☎1162、FAX ☎9744、Eメール：school@city.noboribetsu.hokkaido.jp